2014.01.25　冨松

**2014年度 HP講座1**

**＜htmlの要点＞**

**◇htmlの基本**

**・htmlとは**

html（Hyper Text Markup Language）は、リンクができる文字（Hyper Text）に目印（タグ）を付ける（Markup）方法を定めた規格で、html言語ともいいます。

**・htmlタグの基本書式**



**・htmlの文書構造**

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">

<html>

<head>

<title>htmlファイルの基本構成</title>

</head>

<body>

本日は晴天なり（本文）

</body>

</html>

上記のようなhtmlソースを構成する基本的なタグと、よく使う簡単なタグは覚えておきましょう。

**◇ブロック要素とインライン要素**

htm要素は、大きくブロック要素（block element）とインライン要素（inline element）のいずれかに分類され、CSS書式において重要な概念です。一般的には、ブラウザ表示時に前後に改行が入るものがブロック要素、改行が入らないものがインライン要素と区別されます。

・**ブロック要素**：（ブロックレベル要素ともいいます）

ブロック要素は見出しや段落など文書の骨格となる一つのまとまりを形成し、幅・高さの概念を持ちます。スタイルを指定しない場合は、**画面いっぱいの横幅** を取り、簡単にいえばある大きさのブロックを作り出します。ブロック要素は、他のブロック要素やインライン要素を内容とすることができます。

一般的には、前後に改行が入ります。次にその例を示します。

例：h1～h6、p、**div**、ol、ul、table、hr ・・・など

・**インライン要素**：

「inline」を訳すると「行内」であるとおり、インライン要素は、主に**行の一部** として扱われ、幅・高さの概念を持ちません。インライン要素は必ずブロック要素に含まれか、インライン要素しか囲むことができないため、常にソース構造の最小単位の形成に使用されます。一般的には前後に改行が入りません。

次にその例を示しますが、テキスト自体もインライン要素と考えます。

例：a、img、**span**、font、b、strong、br、**テキスト** ・・・など

**◇div要素とspan要素**

div要素とspan要素は一般の要素とは異なり、文書中での役割は持っていません。従って、この2つは「範囲を指定するだけ」の要素で、いずれも「ここから～ここまで」の形で使われ、両者の違いは次のようになります。div要素とspan要素に役割を持たせるには、id やclass属性を併用します。

（注）**div要素を多用**すると、<div>の適用範囲が分かりづらくなるので注意しましょう。

**div**：汎用ブロック要素。**横幅いっぱいの領域** を持ち、要素の前後に自動的に改行が入ります。

**span**：汎用インライン要素。**行の一部** として扱われ、要素の前後に改行は入りません。

下図にdiv要素とspan要素の典型的な使用例を示します。

＜htmlソース＞

<div>

 インライン要素は、文章の行中に<span style="color: red;">スタイル</span>を適用します。

</div>

＜IEプレビュー（子要素にspan使用）＞

インライン要素は、文章の行中にスタイルを適用します。

＜IEプレビュー（子要素にdiv使用）＞

インライン要素は、文章の行中に

スタイル

を適用します。

ブロック要素の前後は改行されます

ここでhtmlソースの子要素を、次のように入れ換えてみます。

<span style="color: red;"> スタイル</span> **→** <div style="color: red;"> スタイル</div>

**◇img要素**

[img要素](http://rikiy.jp/report/css/20070220.html)は「行の中で使用でき」「前後に改行を作らない」など、インライン要素としての条件を満たしており、htmlではまさしくインライン要素です。ただ、widthやheightなどのを固定値で持つなどブロック要素と同じ特性があるため、CSSの観点からは**インラインブロック要素**とも呼ばれます。

すなわち、次のような特徴を持ち、インライン要素とブロック要素の中間的な存在といえます。

・インライン要素でありながら、CSSプロパティwidth,height,margin,floatの指定が有効

・インライン要素でありながら、CSSプロパティpaddingの指定が無効

・witdhとheightの指定がない場合は、その画像自身のサイズに依存する

**◇今後 使って欲しいhtmlタグ**

・見出し「h1～h6」

「h1～h6」「strong」「b」はすべて太字です。使い分けていますか？

・段落「p」と改行「br」

「p」はブラウザが行の上下にデフォルトの空白行を作ります。「p」１つは、「br」2つと同じ？

・「div」,「span」は、特定の範囲を指定するタグで、それ自身は機能を持ちません。

「div」：ブロックの範囲を指定、汎用属性**id**や**class**と併用し使うことが多い。

「span」：インラインの範囲の文字列を指定します。

・「ol」,「ul」,「li」は リストを作ります。ブラウザはデフォルトの字下げがあります。

<ol><li> ～</li>･･･</ol>：番号付きのリストを作ります。

<ul><li> ～</li>･･･</ul>：マーカー付きのリストを作ります。

**◇HPBの段落と**（**段落内**）**改行**

・「ページ編集」タブで、段落「**p**」はShift+Enter、（段落内）改行「**br**」は単にEnterを使います。

テーブルの中はShift+Enterで「p」が挿入できません。「挿入」～「段落」～「標準」なら挿入可。

・DreamweaverとWordでは、段落と（段落内）改行の操作がHPBとは逆になります。

**◇HPBの半角スペース**

・「**ページ編集**」タブでは、文章の左端では半角スペースは入力できません。また、文章の途中では半角スペースは1つだけしか入力できません。ただし、「**&nbsp;**」（no-breake space）なら「**Ctrl＋スペース**」の操作で、何個でも入力することができます。全角スペースは文字として認識されます。

・「**htmlソース**」タブでは、タブとタブの間に半角スペース・Enter・Tabを入力しても、その機能は無視されます。半角スペースは、文章の左端でも文章の途中でも複数の入力ができますが、文章の左端の半角スペースは認識されず、文章の途中の半角スペースは1つだけしか認識されません。

・「htmlソース」タブでの全角スペースは、文字とみなされます。htmlソースを見やすく整理するためにタグを移動するような場合、全角スペースを使用すると文法ミスになりますので注意が必要です。

・「ツール」～「オプション」～「編集」タブ～「挿入」で、「スペースキーで連続したスペースを入力する」にチェック → 半角スペースの入力はできますがデフォルトのままが望ましい。

**◇htmlの特殊文字**

「htmlソース」タブで、特殊な文字を使用したいときに利用します。例えば、htmlファイル内で文字として「<」を書くと開始タグとみなされますが、「&lt;」と記述すればOKです。また、ブラウザは複数の半角スペースを詰めてしまいますが、「&nbsp;」と記述すると何個でも半角スペースを挿入さします。

&nbsp;（スペース）、&gt;（>：大なり）、&lt;（<：小なり）、&quot;（"：クォテーション）、
&amp;（&：アンパサンド）、&times;（×：掛ける）、&divide;（÷：割る）、&ne;（≠：不等号）など

（注）**nbsp;**（no-breake space）：スペースの前後の位置で自動的な改行をしない特殊なスペース

以上